



# あいちエコモビリティライフ 推進事業の取組について

平成21年11月25日(水)

愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会

## 「エコ モビリティ ライフ」とは

- エコロジー（環境）の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげた造語
- クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかしく使い分けるライフスタイル

## 「エコモビリティライフ」を推進する背景

### ○少子化の進展・高齢社会の到来

⇒公共交通の維持・充実、高齢者等が移動しやすい環境づくり

### ○生活の安全・安心の確保

⇒交通事故や渋滞の防止、メタボリック・シンドロームなど健康面の不安解消

### ○地域活力の向上・魅力あるまちづくりの推進

⇒駅前商店街や中心市街地の活性化

### ○環境問題への対応

⇒地球温暖化の防止、持続可能な地域づくり  
(愛知万博、COP10の開催地としても重要)

## 本県におけるCO2排出量(2005年度)

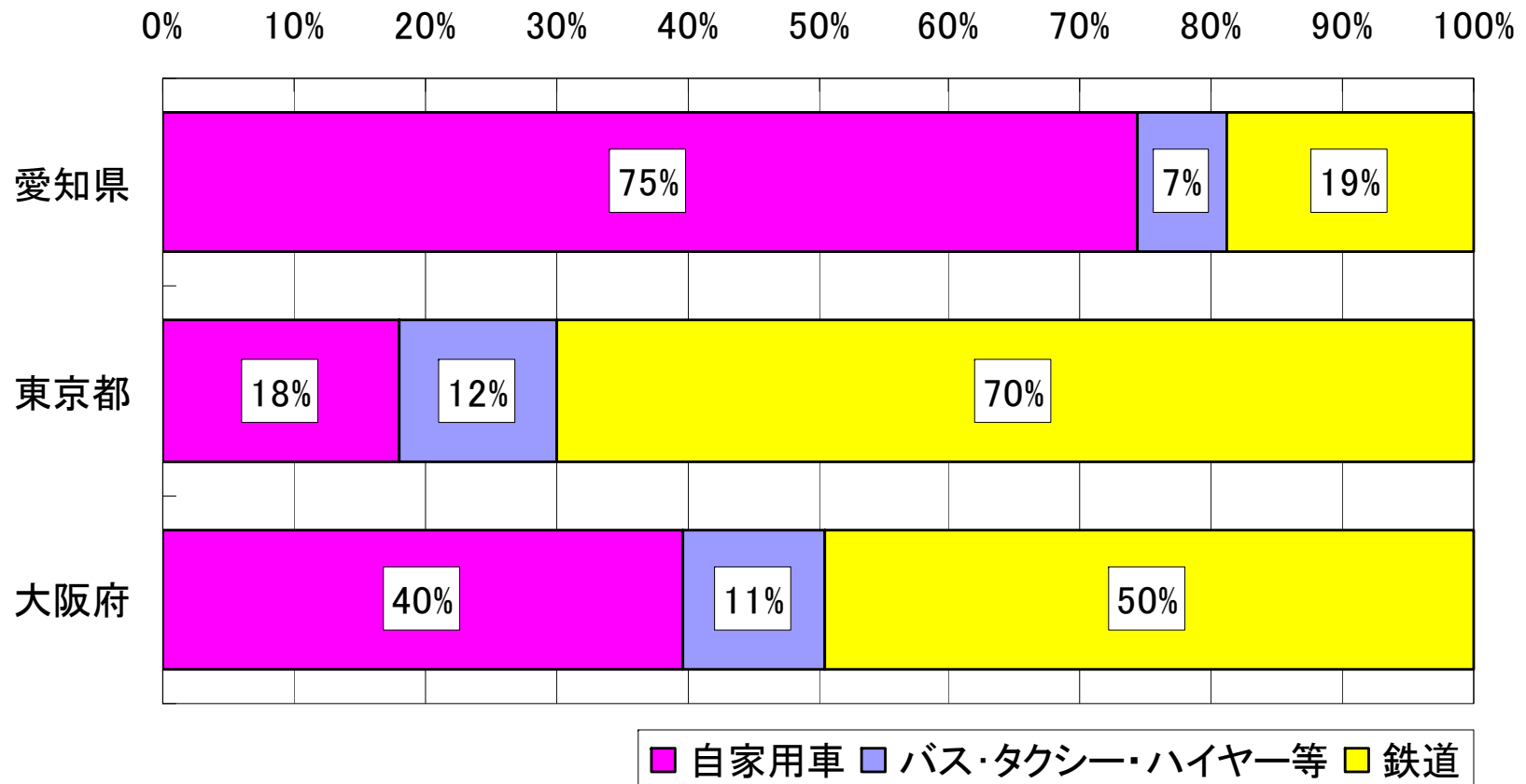
運輸部門からのCO2排出量は、産業部門に次いで多く、全体の約16%。

※ 東京都:約26%、大阪府:約16%

区分		基準年度 排出量 (千トン-CO <sub>2</sub> )	2005年度 排出量(割合) (千トン-CO <sub>2</sub> ) (%)	増加率 (1990→2005) (%)	
				区分内	
エネルギー 起源 CO <sub>2</sub>	産業	42,711	43,926( 55.2)	+ 2.8	+ 11.1
	民生(家庭)	7,315	9,522( 12.0)	+ 30.2	
	民生(業務)	8,381	11,527( 14.5)	+ 37.5	
	運輸	10,915	12,490( 15.7)	+ 14.4	
	エネルギー-転換	1,481	2,123( 2.7)	+ 43.4	
	小計	70,803	79,588(100.0)	+ 12.4	
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O		3,458	4,560		+ 1.4
代替フロン等 3 ガス		5,169	2,133		▲ 3.8
合計		79,431	86,281		+ 8.6

(資料:愛知県「平成20年版環境白書」)

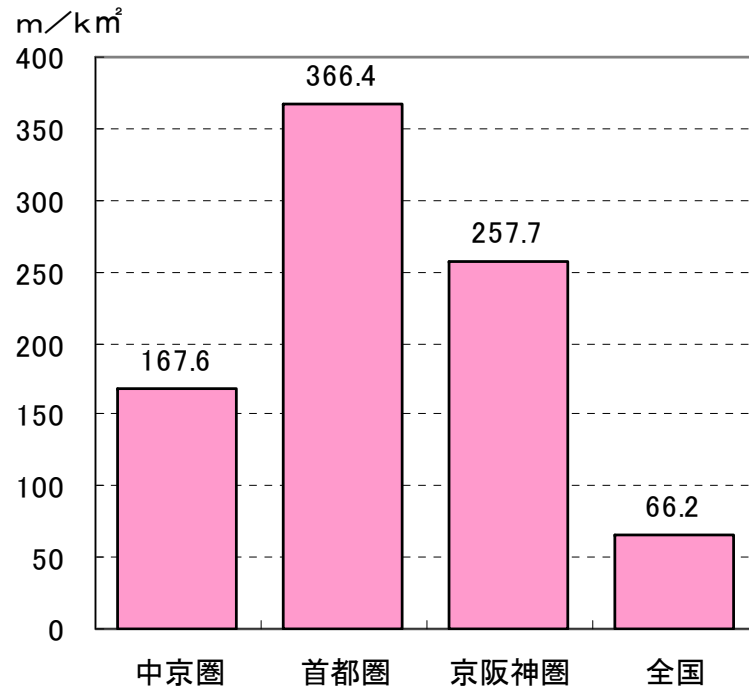
# 本県の旅客輸送機関分担率



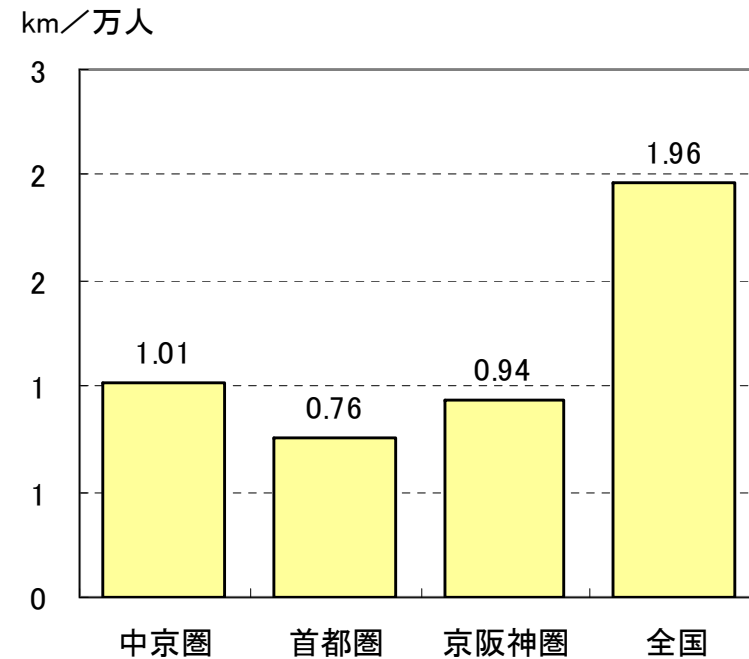
(資料:平成19年度旅客地域流動調査)

# 三大都市圏における鉄道の現状 (2007年3月末)

## 《鉄道網密度》

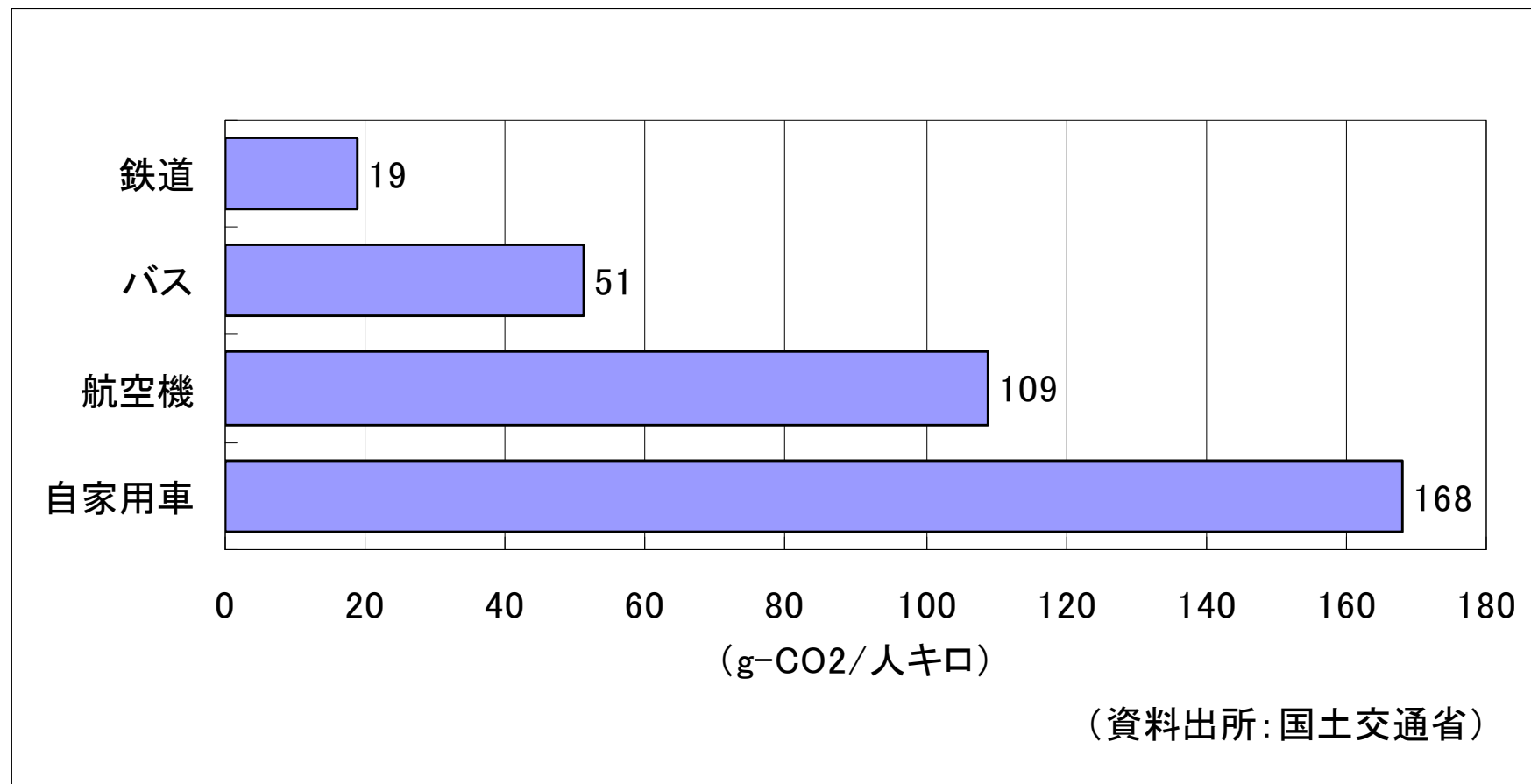


## 《人口当たり鉄道営業キロ》



(資料:「都市交通年報」及び「国勢調査」結果をもとに作成)

## 輸送量当たりのCO2排出量(2007年度)



# 「エコ モビリティ ライフ」推進事業の目標

「エコ モビリティ ライフ」を県民運動として取り組むことにより、環境にやさしく、安全で健康的な県民生活や元気・活力あるまちづくりなどの実現につなげる





# あいちエコモビリティライフ推進協議会

## (1) 目的

環境にやさしく、安全で健康的な生活や活力のある地域づくりを実現するため、行政・事業者・各種団体・NPOなど幅広い主体の連携・協働のもとに、「エコモビリティライフ」の普及・定着を目的とする。

(平成20年7月7日設立)

## (2) 組織

- ・ エコモビリティライフの推進に賛同・協力する行政・事業者・各種団体・NPOなどをもって組織
- ・ 事業活動の充実を図るため、国の地方機関によるオブザーバー及び学識経験者等によるアドバイザーを設置

## (3) 役員

会 長：愛知県知事

副会長：愛知県商工会議所連合会会長  
社団法人中部経済連合会会長

## 協議会構成メンバー(148団体・名)

行政関係機関(64)	愛知県、名古屋市・豊田市はじめ60市町村
教育関係機関(12)	小中学校、高等学校、専修学校・各種学校、大学
経済団体等(12)	愛知県商工会議所連合会、(社)中部経済連合会など
事業者団体・企業 (27)	(社)愛知県バス協会、愛知県タクシー協会、東海旅客鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、近畿日本鉄道(株)、名古屋市交通局、名鉄バス(株)、トヨタ自動車(株) など
地域団体・関係団体・NPO(21)	青少年・女性・老人クラブ・社会福祉・外国人・労働者の各団体、交通エコロジー・モビリティ財団はじめ環境・交通の関係団体やNPO
国の機関(オブザーバー)(5)	東海総合通信局、中部経済産業局、中部地方整備局、中部運輸局、中部地方環境事務所
学識経験者(アドバイザー)(7)	交通計画やモビリティ・マネジメントに精通している大学教授など

## 協議会の取組について

### 《重点取組事項》

- 1 エコモビリティライフに関する普及啓発
- 2 エコ通勤・エコ通学への転換促進
- 3 パーク&ライド(P&R)の普及拡大
- 4 公共交通の利用促進に対する動機付け

### 《取組の観点》

- ① 普及啓発(知ってもらう)
- ② 促進(促す)
- ③ 環境づくり・基盤整備(支える)

## 平成21年度の主な取組

<p>1 エコモビリティライフに関する普及啓発</p>	<p>(1)「エコモビの日」におけるPR及び実践  (2)「エコモビリティライフ」促進モデル事業及び県民参加・体験事業 ⇒ 「エコモビの日」キャンペーンの実施  (3)PR資材の作成・周知  ・ポスターやチラシ、グッズの作成  (4)キャンペーン、各種イベントの実施  ・公共交通利用促進キャンペーンの実施  ・鉄道の日、バスの日イベント、カーフリーデー、市町が主催する関係イベントへの出展</p>
<p>2 エコ通勤・エコ通学への転換促進</p>	<p>(1)モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」への転換促進  ・モビリティ・マネジメント(MM)を中心とするエコ通勤促進の取組の実施  ・全県的・継続的な展開を目指した「エコ通勤転換促進プログラム」策定に係る調査の実施  (2)通勤・通学レンタサイクル事業の推進  (3)「エコ通勤」デーの実施</p>

## 平成21年度の主な取組

<p>3 パーク&amp;ライド(P &amp;R)の普及拡大</p>	<p>(1)リニモ沿線パーク&amp;ライド普及推進事業の実施  (2)県全域におけるパーク&amp;ライド普及推進  (3)店舗利用型パーク&amp;ライド駐車場の継続実施</p>
<p>4 公共交通の利用促進に対する動機付け</p>	<p>(1)公共施設等の公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県美術館企画展等における公共交通利用者の観覧料割引(エコモビ割)の実施</li> <li>・ 公共交通利用者へのサービス提供</li> </ul> (2)交通エコマネーの普及促進</p>
<p>5 その他</p>	<p>(1)地域が一体となった公共交通の利便性向上に向けた取組の推進  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数市町村が連携したバス運行の検討・実施</li> </ul> (2)自転車、徒歩などによる移動の推進  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通と連携したウォーキング事業の推進</li> </ul> (3)環境にやさしい自動車利用の促進  (4)ITS(高度道路交通システム)の推進</p>

## 「あいちエコモビリティライフの日」(エコモビの日)

1 趣旨	「エコモビリティライフ」を県民運動として推進するため、「エコモビの日」を設けて、「エコモビリティライフ」を積極的にPRするとともに、「エコモビリティライフ」の実践を促進する。
2 実施主体	愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会
3 実施時期	毎月第1水曜日 平成21年10月の第1水曜日(10月7日)からスタート (毎月第1水曜日とした主な理由) <ul style="list-style-type: none"><li>・市町村や企業・団体の多くで毎週水曜日がノー残業デー</li><li>・県内市町村のいくつかが「エコ通勤デー」等に指定</li><li>・平日の中日で組織として取り組みやすい</li></ul>

## 「あいちエコモビリティライフの日」(エコモビの日)

<p>4 実施内容</p>	<p>ア 県(協議会事務局)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ポスター、チラシ等の作成・送付</li><li>・ キャンペーンの実施</li><li>・ 広報媒体やマスコミ等を活用したPR</li><li>・ イベントを活用したPR</li><li>・ 県職員へのPR・働き掛け</li><li>・ 公共交通の利用に対する動機付けの実施</li></ul> <p>イ 協議会構成員の取組(次の内容を可能な範囲で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ポスター、チラシ等の掲示・設置</li><li>・ キャンペーンの実施</li><li>・ 各構成員の広報媒体を活用したPR・呼び掛け</li><li>・ イベントを活用したPR</li><li>・ 各構成員の職員・関係者へのPR・働き掛け</li><li>・ 公共交通の利用に対する動機付けの実施</li></ul>
---------------	---

# 各種イベント・展示会等におけるPR

《名古屋まつり》

《COP10開催1年前イベント》





## エコモビリティライフ促進モデル事業

「エコ モビリティ ライフ」促進のモデルとなる取組に対して県が経費を負担するとともに、協力や進行管理などを実施。  
提案のあった取組のうち、審査委員会で5つの事業を選定。

実施主体(所在地)	主な内容
尾張旭市営バス「あさぴー号」を育てる会(尾張旭市)	市営バスの認知度の向上と利用の促進
下山ささゆりバス委員会(岡崎市)	乗合タクシーを利用した都市住民との交流事業(ウォーキングツアー)の実施
豊田市エコ通勤をすすめる会(豊田市)	公共交通機関の利用促進のためのサイクルシェアリングの実施
日本福祉大学経済学部チーム・エコモビ(美浜町)	とことこバス(常滑市)を活用した体験ツアーの実施
リニモねっと(長久手町)	「リニモとことん語る会」ー交通まちづくりからエコモビリティライフを考えるーの開催

## あいちコミバスラリー

1 目的	「エコ モビリティ ライフ」の普及啓発とともに、多くの市町村で運行されているコミュニティバスのPRと利用促進を図る。
2 実施期間	平成21年12月2日(水)から平成22年2月3日(水)まで (キーワード掲示期間) ※ 応募受付は2月10日(水)まで
3 実施方法	<p>① 参加者はラリーの対象となるコミュニティバス(38市町村)に乗車し、乗車した証明として車内に掲示された市町村ごとのキーワードを入手する。</p> <p>② 3市町村のコミュニティバスに乗車してキーワードを入手した参加者は、3つのキーワード及び必要事項を官製はがきに記入して事務局あてに郵送する。(応募は1人1回)</p> <p>③ 応募者の中から抽選で賞品(図書カード5千円分10名、ピンバッジ40名)をプレゼントする。</p>

## リニモ沿線地域における「エコモビ」の取組

名称	主な内容
チャレンジ・エコ通勤	リニモ沿線住民を対象にモビリティ・マネジメントの手法により、リニモを利用した通勤・通学転換を促進。
通勤・通学レンタサイクル	リニモ定期乗車券を所持し、リニモとレンタサイクルを乗り継いで通勤又は通学を行う中学生以上を対象に、無料で自転車(140台)を貸し出し。
パーク&ライド駐車場の運営	地元市町と共同で、「愛・地球博記念公園駅」北側の月極パーク&ライド駐車場(231台分、1,500円/月)を運営。
“あいち”発エコマネー	リニモ利用+施設利用でエコマネーポイント(リニポン)を発行
リニモ・バス乗り継ぎマップ「リニモビ」	GISマップ上でリニモ各駅に接続する路線、バス停、時刻表などの情報が取得できるホームページを運用中。
沿線施設と連携したイベントの開催	モリコロパーク崖の上のポニョ展、わくわく体験リニモツアーズ、リニモウォーキング など

## EST創発セミナー参加者へのお願い

### 1 「エコモビリティライフ」及び「エコモビの日」のPRへの協力

⇒ ポスターの掲示・チラシの配架など  
利用客への「公共交通機関でお越しく下さい」との案内

### 2 職員や関係者による「エコモビリティライフ」の実践

⇒ 「エコ通勤」や「パーク(サイクル) & ライド」の実施

### 3 公共交通の利用者に対する動機付けへの協力

⇒ 料金割引や飲食サービスの実施、EXPOエコマネーやGREENシール事業等への参加協力

**本日はありがとうございました。  
「エコ モビリティ ライフ」の  
推進にご支援・ご協力を  
お願いします。**



**～はじめよう 環境にやさしい 交通行動～  
～毎月第1水曜日は「エコモビの日」～**